

令和7年度改善事例集

ステークホルダーからのご意見、ご要望等への対応による改善事例

佐賀大学では、よりよい大学運営や教育内容・方法の改善等に役立てるために、本学のステークホルダー（学生、卒業（修了）生、新入生、ご家族、教職員、学外の各委員及び関係者、地元企業の皆様、地域の皆様など）からさまざまなご意見・ご要望をいただきました。それらへの対応状況の中から具体的な改善事例をピックアップして公開いたします。今後とも、地域とともに発展しつづける大学であるために、いただいたご意見等に対し改善に向けて努力してまいります。

【令和7年度意見聴取（令和7年度 意見対応） 令和8年3月31日現在】

整理番号	ご意見をいただいたステークホルダー区分	事業等の名称	ご意見、ご要望等の内容	大学の対応	具体的な改善事例（R8.3.31）	改善年度
3	佐賀大学教職員アンケート回答者	広報室アンケート（197名） 令和7年10月28日～ 令和7年10月31日	○広報誌で取り上げて欲しいテーマ ・コスメティックサイエンス学環や共同教員養成課程 ○SNSの効果的な利用について ・Instagramのリール、YouTubeのショート動画等のショート動画の活用、教授、研究、サークル紹介、学内散歩等 ○制作して欲しいノベルティグッズ ・【食品】 個包装のクッキー・日持ちするお土産	○コスメティックサイエンス学環については、広報誌第53号の特集記事として掲載を予定。 ○大学の情報をより多くの方に届けるべく、大学公式SNS（X、Instagram、YouTube）においてショート動画の公開を行う。 ○毎年要望が出ていた個包装の大学オリジナルお菓子、お土産については、佐賀市の飲食店とコラボ商品を検討。	○コスメティックサイエンス学環については、広報誌第53号の特集記事として掲載しました。 ○令和7年12月より、大学の情報をより多くの方に届けるべく、大学公式SNS（X、Instagram、YouTube）においてショート動画の公開を開始しました。 ○毎年要望が出ていた個包装の大学オリジナルお菓子、お土産については、佐賀市の飲食店とコラボし「カッチーくんクッキー」を開発、令和8年3月から販売が決定しました。	R7
12	患者様及びその関係者様など	附属病院 ご意見箱	○ご意見・ご要望 ・代表電話がつかまらない	患者様及びその関係者様など外部等の視点から見た病院運営の在り方及び病院サービス向上について検討する。	R7.11.17から予約変更AI電話の運用開始。予約変更との棲み分けにより、以前よりも代表電話がつながりやすくなった。	R7

【令和6年度意見聴取（令和7年度 意見対応） 令和8年3月31日現在】

整理番号	ご意見をいただいたステークホルダー区分	事業等の名称	ご意見、ご要望等の内容	大学の対応	具体的な改善事例（R8.3.31）	改善年度
1	佐賀大学広報誌「かちがらす」第50号読者アンケート回答者	佐賀大学広報誌「かちがらす」第50号読者アンケート（広報誌についてご意見・感想）	○取り上げてほしいテーマ ・活躍する卒業生について ○意見・感想 ・先輩からのメッセージに女性を入れてほしい ・紙ベースの発信を続けてほしい	・いただいた意見を精査し、可能なものについては広報誌、HPへ反映するよう検討します。 ・学生の活動やニュースなどをSNSや佐賀大学のニュースサイト「佐賀大Press」で発信し、幅広く広報していきます。 ・リクエストの多いテーマは、今後積極的に取り扱います。 ・今後「先輩からのメッセージ」では、男女比のバランスも考慮します。	・「活躍する卒業生」を取り上げてほしいというご意見に対しては、毎号、「社会で輝く先輩からのメッセージ」コーナーにて紹介しています。 ・「社会で輝く先輩からのメッセージ」に女性を入れてほしいというご意見に対し、第52号及び第53号では男女比を配慮して取材しました。 ・紙ベースの発信は継続しつつ、電子版を本学公式ウェブサイトにて公開し、広くご覧いただけるようにしています。	R7
2	佐賀大学広報誌「かちがらす」第51号読者アンケート回答者	佐賀大学広報誌「かちがらす」第51号読者アンケート（広報誌についてご意見・感想）	○取り上げてほしいテーマ ・学生のボランティア活動 ・佐大生の活躍	・いただいた意見を精査し、可能なものについては広報誌、HPへ反映するよう検討します。 ・学生の活動やニュースなどをSNSや佐賀大学のニュースサイト「佐賀大Press」で発信し、幅広く広報していきます。 ・リクエストの多いテーマは、今後積極的に取り扱います。 ・今後も「先輩からのメッセージ」は継続する予定です。	・「学生のボランティア活動」について取り上げてほしいというご意見に対し、広報誌第52号では、学生広報スタッフが編集したページ「イキイキ佐大生」において献血推進活動を行っている学生団体の佐賀県支部、「佐賀県学生献血推進協議会へちゅー」会長を務める理工学部の学生を取り扱いました。 ・「佐大生の活躍」を取り上げてほしいというご意見に対し、広報誌第53号では、学生広報スタッフが編集したページ「イキイキ佐大生」において、イラストレーターとして活躍している農学部学生を取り扱いました。	R7

令和7年度改善事例集

【令和6年度意見聴取（令和7年度 意見対応） 令和8年3月31日現在】

整理番号	ご意見をいただいたステークホルダー区分	事業等の名称	ご意見、ご要望等の内容	大学の対応	具体的な改善事例（R8.3.31）	改善年度
3 ①②	佐賀大学教職員アンケート回答者	広報室アンケート（140名） 令和6年10月7日～ 令和6年10月15日	<ul style="list-style-type: none"> ①広報誌で取り上げて欲しいテーマ <ul style="list-style-type: none"> ・コスメティックサイエンス学環の特集 ・学生生活に便利な情報 ②SNSの効果的な利用について <ul style="list-style-type: none"> ・フォトコンテスト ・専用ハッシュタグの定着化 ・カッチーくんのつぶやき ③制作して欲しい広報用グッズ <ul style="list-style-type: none"> ・新しい名刺デザイン ・大学外観写真素材の配布 ・椅子の背もたれカバー ④制作して欲しいノベルティグッズ <ul style="list-style-type: none"> ・かっちゃんのアクリルスタンド ・タオル、ハンカチ、ハンドタオル ・Tシャツ、トレーナー ⑤デジタルサイネージの活用法 <ul style="list-style-type: none"> ・コスメティックサイエンス学環の紹介 ・企業協賛や共同研究の募集 ・生産物販売のPR 	<ul style="list-style-type: none"> ①いただいた内容は、誌面の都合上、まだ採用できていませんが、今後のテーマの参考とさせていただきます。特にコスメティックサイエンス学環については、今後の特集記事として扱う予定です。 ②フォトコンテストは学生広報スタッフのSNSで実施しました。専用ハッシュタグは、今後意識して使用します。カッチーくんのつぶやきは、情報発信手段の一つとして検討します。 ③大学外観写真は写真撮影を行いましたので、今後公開いたします。名刺デザイン、椅子の背もたれカバーは、新年度に対応予定です。 ④新年度にコスメティックサイエンス学環のCMを制作して放映予定です。また、他のリクエストについても随時対応します。 	<ul style="list-style-type: none"> ①「コスメティックサイエンス学環について特集してほしい」というご意見については、広報誌第53号で特集しました。 ②SNSの効果的な利用として、学内施設をカッチーくんが紹介する「カッチーくんの佐大さんぽ」シリーズの投稿を新たに開始した他、学生の紹介や学内の雰囲気等をショート動画で公開を開始しました。 ③大学外観写真は学内限定でウェブサイトに追加掲載を行っています。ノベルティグッズは、学内の窓口に置くためのアクリルスタンドを作成し配付しました。また、教職員アンケートの回答者用プレゼントとしてオリジナルのハンドタオルを制作しました。名刺デザインについては、令和7年度に制定したコミュニケーションマークのデザインを新たに作成し、教職員限定ページに掲載しました。 ④部局からのリクエスト等に基づき佐賀中央郵便局のデジタルサイネージで以下のCMを放映しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・公開講座の紹介 ・附属病院 前立腺がん第1段CM 受けよう！前立腺がん検査 夫婦の会話篇 ・附属病院 前立腺がん第2段CM 受けよう！前立腺がん検査 家族の会話編 	R7
5	授業履修者	授業評価アンケート	必修科目であるインターフェースプログラムの選択履修後にイメージと違ってやり直したいという声があった。	1プログラム4科目8単位必須の運用を見直し、1プログラム2科目4単位×2プログラムの方式へ変更し、柔軟な再選択や複数プログラムの履修を可能にした。	1プログラムが短くなり、ミスマッチによるやり直し不能の状況が解消。複数の視点から学べることで、複眼的・多角的な視点の獲得にもつながった。	R7
6	卒業（修了）予定者	卒業（修了）予定者を対象とした共通アンケート	インターフェースプログラムの履修希望が抽選で通らず、希望しない科目を履修せざるを得ないケースがあった。	新たなインターフェース科目群として、「課題解決のためのプロジェクトデザイン」「教育から学ぶインターフェース論」「教育レクリエーション支援の探究」プログラムを開講し、学生が自分の興味・関心に応じて幅広い領域を選べるよう選択肢を拡大した。	抽選倍率が下がり、希望するプログラムに参加しやすくなったことでミスマッチが減少した。また、新プログラム開設により学びの幅が広がった。	R7
8	学生	令和6年度新入生懇親会（アンケート）	<ul style="list-style-type: none"> ○歓迎会実施内容 ・会費の負担について 	<ul style="list-style-type: none"> ・いただいた意見を精査し、対応可能なものについては、改善を検討します。 ・会費については前回より金額を低く設定し学生の負担を軽減します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会費については学生からの意見を基に、令和7年度からは一般運営経費学務系経費に予算を組んでいたが、学生から徴収しないこととしました。 	R7
10	患者様	附属病院 患者様満足度調査	外来エリアでのWi-Fiの利用環境を整備してほしい。	意見に対応して改善に向けた対応策を検討していきます。	患者用Wi-Fiの利用環境を外来エリアにも拡充した。	R7
13	学生、保護者、自治体、企業、教職員など	ステークホルダー（学生、保護者、自治体、企業、教職員など）との交流会	・意見内容を教育現場にフィードバックして教育改善を推進。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会の期待に応える人材の輩出 ・学生一人ひとりが成長実感を得られる教育の実現 	ステークホルダーとの意見交換等で得た声を教学IRとして分析し、教育改善に反映するとともに、「そのサカ、見える」や教育改善サイトで可視化・公開し、情報発信を通じて共感形成と教育の質向上につなげている。	R7

令和7年度改善事例集

【令和5年度意見聴取（令和6～7年度 意見対応） 令和8年3月31日現在】

整理番号	ご意見をいただいたステークホルダー区分	事業等の名称	ご意見、ご要望等の内容	大学の対応	具体的な改善事例（R8.3.31）	改善年度
4	来てみんしゃい佐賀大学へ企画参加者	来てみんしゃい佐賀大学へ企画	・佐賀の小中高生にとってより身近な企画をお願いしたい。	<p>・「来てみんしゃい！佐賀大学へ」企画は、本学に親しみを持っていていただくという目的が十分に達成され一定の成果を挙げたものと判断して終了しました。</p> <p>・令和6年度からは文科省が推進する「こども見学デー」に合わせて、対象を小・中学生に設定した企画を募集することとし、以下の2つの企画を実施しました。</p> <p>1. 佐賀大学学長にインタビューをしよう！（ダイバーシティ推進室）</p> <p>2. 唐津にある佐賀大学農学部ではどんな研究をしているの？（アグリ創生教育研究センター）</p>	<p>・令和7年度も文部科学省が推進する「こども見学デー」に合わせて、「佐賀大学こども見学デー」を開催し、対象を小・中学生に設定した企画（2件）を実施（支援）しました。</p> <p>1. 佐賀大学夏季学童保育with カッチャ教室「みんなでつくる！『オノマトベ図鑑』」（情報図書館課）</p> <p>2. コスメを作って研究してみよう！唐津にある佐賀大学を体験！（生物資源教育研究センター）</p>	R7
12	学生	通信環境の満足度調査	アンケート調査の結果、キャンパスネットワークシステム更新をしたことにより「概ね改善した」・「改善も悪化もしていない」という意見が大半であるが、中には無線LANの繋がりにくさが更新により「悪化した」・「更新により大いに悪化した」との意見も少数であるが存在した。	特に、繋がりにくさの意見が存在するところは、引き続き、現場環境について詳しく調査を行い、アクセスポイントの追加設置を検討するなど、改善のための環境整備予算確保を行い対応する。	<p>アンケート調査の結果を踏まえ、引き続き現場環境について詳しく調査を行い、アクセスポイントの追加設置を検討するなど、改善のための環境整備予算確保を行い対応する。</p> <p>（前回回答以降における対応事例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R7.3 医学部付帯施設棟 無線AP新規設置実施 ・R7.3 教養教育2号館 無線AP増設実施 ・R7.3 本庄地区体育館 ネットワークスイッチおよび無線AP新規設置実施 ・R8.3 教育学部3号館 無線AP増設予定 ・R8.3 理工学部理系大学院棟 無線AP新規設置予定 ・R8.3 理工学部6号館 無線AP増設予定 	R7